

## = 支部だより =

## 北海道支部

## 北海道支部社会貢献事業（雪氷教育普及）の開催報告

「2012 サイエンスパーク in 札幌駅前通地下歩行空間」

日 時：2012 年 8 月 1 日（水）10：00～16：00

場 所：札幌駅前通地下歩行空間

主 催：北海道，（地独）北海道立総合研究機構

内 容：体験コーナー，展示コーナー，ステージ  
ショー

出展企画：体験コーナー『雪の結晶を作ろう』

時 間：14：00～15：00

場 所：北 4 条会場 A

プログラム：平松式人工雪発生装置による雪結晶  
観察，雪の結晶型アイロンビーズ作成

参加者：小学 1 年生～6 年生 24 名，欠席 6 名

司 会：中村一樹（北海道大学大学院地球環境科  
学研究院），大鐘拓哉（小樽市総合博物館）

協力スタッフ：全 15 名

サイエンスパークとは、豊かな北海道の未来を  
創る科学技術の振興のため、北海道の未来を担う  
子ども達に、科学技術を身近に体験し理解を深め  
てもらおうことを目的として、2002 年から北海道が

主催して行っている夏休みのイベントである。北  
海道支部では、一般市民に向けた科学技術の振興  
と啓蒙活動を目的として、社会貢献事業（雪氷教  
育普及活動）を行っており、前年に引き続き 2012  
年度もサイエンスパークに参加し、体験コーナー  
「雪の結晶を作ろう」を開催した。事前申込制で  
定員 30 名以上の応募があったため、主催者の抽  
選により受講者が選出された。

体験コーナーでは、平松式人工雪発生装置によ  
る冷たい雪の結晶を作る実験と、アイロンビーズ  
による熱い雪の結晶作りを行った。実際の雪結晶  
の写真を見せながら、六花の形状が様々であるこ



図 1 作成された人工雪結晶



図 2 会場の様子

とを説明した。また、1555年のマグヌスからベン  
トレー・中谷宇吉郎に至る雪結晶観察の歴史につ  
いて、模写や写真を紹介した。

そのほか、ステージショーの科学クイズ大会に  
おいて、南極で観察された雪まりもについて、そ  
の名称を問う問題を出題した。

科学クイズ大会の景品として、北海道教育大学  
の尾関俊浩氏による雪結晶の写真ポストカード  
を、アンケート回答の景品として、成田英器氏に  
よる積雪の薄片ポストカードを提供した。

作業手順やコツなど、事前リハーサルによって  
確認していたため、大きな問題もなく無事に、人  
工雪結晶を作成・観察し、アイロンビーズの雪結  
晶作品を完成させることができた。わずか1時間

のイベントではあったが、子供たちの笑顔は明る  
く、雪に対する科学的関心を引き出すことが出来  
たように思う。今後も何らかの形で教育普及活動  
が継続されるよう希望する。

なお、今回の社会貢献事業を実施するにあたり、  
支部理事および支部会員の有志15名に多大なる  
ご協力をいただいた。また、事前リハーサルのため  
北海道大学大学院環境科学院の部屋をお借りし、  
日本気象協会北海道支社に各種機材の保管や  
運搬のご協力をいただいた。ここに記して深く感  
謝の意を表します。

(農研機構 北海道農業研究センター  
生産環境研究領域 井上 聡)  
(2012年8月31日受付)

## 北信越支部

# 日本雪氷学会北信越支部 25周年事業

## 『雪のころ\*雪のことば』

### 開催のお知らせ

**主 催：**日本雪氷学会北信越支部

**後 援：**新潟県、長岡市、雪氷防災研究センター、長  
岡震災アーカイブセンターきおくみらい

北信越支部は1987年9月に設立され今年25周

年を迎えます。これを記念して雪のミリオク（魅  
力・美力・未力）を広く伝えるイベントを開催致  
します。同時に参加型イベントとして皆様の感じ  
る「雪のころ\*雪のことば」を募集しております。



図 1 会場地図